

道徳通信

野々市市立野々市中学校 令和元年 10月31日(木) NO. 4



2学期の中間テストが終わり約3週間、各クラスで合唱練習を重ねてきました。いよいよ明日は合唱コンクールと文化祭です。実りの秋の名のもとに、ぜひ実りの多い1日になるように、全校生徒で心を1つにしていきましょう。今回の道徳通信では、10月に行った各学年の授業の様子をご紹介します。

※1・2年生では、「合唱コンクール」にちなんだ教材を活用しました！



1年生「合唱コンクール」より

【あらすじ】

11月の文化祭がやってきた。1日目の合唱コンクールのために、1ヶ月前から練習をしている。クラスみんながやる気を起こさず、指揮者としてのぼくは途方に暮れていた。そんなある日、クラスメイトの神田くんが声をあげる。「このままでいいの。歌うのはぼくたちなんだろう。」

合唱コンクール当日、みんなで声をかけ合い、精一杯歌った。結果は、準優勝。あと一步だった。しかし、ぼくは満足感でいっぱいだった。

～授業後の生徒の感想～

この物語を人ごとと思わずに、自分たちもきちんとがんばらなくてはいけないと思った。

練習を全力でやって、ふらふらせずに、楽しく歌うことができれば、満足した歌を歌えるのかな、と思います。

残り1週間、達成感を感じられるように、一生懸命がんばりたいと思った。

私、合唱リーダーとしてがんばります！

2年生「初めての伴奏」より

～授業後の生徒の感想～

全員でよいよい合唱にしていくにはクラス全員の気持ちを1つにすることが大切だと思った。

金曜日の合唱コンクール本番で、伝えたい思いが誰か一人にでも届くとうれしかった。

みんなが見ていないところでピアノの人がどれだけ練習をしているかが分かった。

合唱は一人だけががんばるのではなく、クラスのみんなががんばるからこそ、最高の合唱になるということが分かりました。

みんなが感動できる合唱にしたいと思った。

【あらすじ】

合唱コンクールで初めて伴奏をすることになった璃子。練習中、度々間違え、あせればあせるほどうまく弾くことができない。男子の何人かから「自分でピアノを弾くって手を挙げたんだから、間違えないで。」と言われる始末。「あんなこと言う男子だって、しっかり歌ってないのに。」

「ねえ、ちゃんと声を出そうよ。」練習中、そう声を出したのは指揮者の陸だった。それをきっかけに、ピアノの伴奏は、自分だけのものじゃなくて、クラス全員の歌とセットなのだということに気づく。その日から必死に練習に取り組んだ。合唱練習の日々は、まだまだ続く。

3年生「好きな仕事か安定かなやんでいる」より

合唱練習と並行して、いよいよ卒業後の進路を決める時期になった3年生。来月からは総合テストが始まります。高校受験も気になるけど、その先の進路も見据えて考えないと……。でも、どんなふうに将来の仕事を選べばいいの？ みんなで進路選択について考えました。

【あらすじ】

就職活動をひかえた大学生の投書が新聞に載りました。その大学生は「企業の知名度や収入の高さは重視せず、本当にやりたいこと、好きなことができる仕事を選ぶ理想的な生き方」か「結婚して家族を養えるように安定した収入をもらえる仕事を選ぶ現実的な生き方」か迷っています。その投書に対し、様々な意見が寄せられました。

☆野々市中の3年生の考えは…☆

まずは安定した仕事で自分の「基盤」を作っておけば、後々楽に暮らせると思う。その時にやりたいことをやればいい。好きな仕事をとっても金銭面の不安からは逃れられない。

仕事に就いて失敗しても、まだまだ先は長いので、あせらずにゆっくりと探せば、良いところに勤めて生活も安定していくと思います。

気の進まないことを無理してするより、したいことを喜んでする方がたくさんの方ができると思いました。

自分の決めたことなら一生懸命できると思う。

はっきりした自分の気持ちがあるのなら、社会に出ても大丈夫だと思う。



～進路を選択する時に大事なことは何だろう？～

私は自分の進路を決める時に納得して出せる答えを出したいです。妥協して決めたら、後悔してしまうと思うから、後悔しない選択をすることが大切だと思いました。

自分の人生でしたいことを頑張る気持ち。

本当に自分がこの仕事に就いて頑張りたいって思うかどうかだと思ふ。心の底から「好きなことをしたい」って思うのなら、それに向けて頑張ればいいと思うし、現実的な生き方でいいと思うなら、それはそれでいいと思う。